



大学対抗ZeroEnergyHouseコンペティション エネマネハウス2015 早稲田大学建築学科提案 ワセダライブハウス

【エネマネハウス2015】は、経済産業省が主催する、ZEHの推進による多様な価値の創出、更に質の高い生活を実現する住まいの提案、革新的アイデアを生むプラットフォームとしての産学官連携をねらいとして、各大学がモデル住宅を実際に建設してその質を競う建築コンペティションです。

暮らしを愉しむ



フラットな二層構造による維持更新の容易性

熟練工が不要な工法の採用

林業・林産業住宅産業を通貫する生産体制

住まい手が愉しむ建築プロセスと省エネ創エネ

地域創生とアジア展開

ワセダライブハウスは、住まい手自らが建設に参加し（ライブ）、メンテナンスや省エネ創エネを愉しみ（ライブ）、共に変化して成長する（ライブ）ZEHを目指しています。

ワセダライブハウス 実施事業体

早稲田大学建築学科

高口洋人研究室（環境メディア学）
渡辺仁史研究室（建築情報学）
田辺新一研究室（建築環境設備）
小林恵吾助教（PM）

参加学生

植村遥／中川純／大滝明香里／浅野寛人／池川隼人／伊原さくら／小松昇平／角尾怜美／丸山賢人／三好諒／万木景太／若山麻衣／島村知弥

協力企業

三菱商事建材(株)＋ミサワホーム(株)／パナソニック(株)／東京ガス(株)／(株)LIXIL／大和通商・(株)加藤木材工業(株)／野地木材工業(株)／(株)ニチベイ／旭硝子(株)／田島ルーフィンググループ／(一社)エコまちフォーラム／(株)エム・システム技研／カネカケンテック(株)／シブスレインワールド(株)／スフェラパワー(株)／積水ナノコートテクノロジー(株)／(株)フィリップス／富士ソーラーハウス(株)／フジワラ化学(株)／山崎産業(株)／(株)夢ハウス／JX日鉱日石エネルギー(株)／銘建工業(株)／(株)タツミ／(株)篠原商店／(株)カネシン／タカヤマ金属工業(株)／東日本パワーファスニング(株)／(有)誠建社／協和木材(株)／(株)益田建設（2015/09/15 現在）

設計協力

細海拓也一級建築士事務所＋IMIN／永井拓生（構造設計）／(株)小原技術士事務所／Onder de Linde

出場校

早稲田大学
関東学院大学
芝浦工業大学
山口大学
立命館大学

■会場

横浜市みなとみらい地区57街区
（最寄り駅：みなとみらい線 新高島駅）

■モデルハウス一般公開日（※入場無料）

第1回 10月17日（土）～20日（火）

第2回 10月30日（金）～11月1日（日）

時間：10:00～16:30（10月17・31日のみ13:00～16:30）

<優秀校の表彰式> 日時：10月31日（土）15:00～ 場所：はまぎんホール ヴィアマーレ



会場 GoogleMap



早稲田大学
WASEDA University

問い合わせ先：早稲田大学 高口研究室 TEL：03-5286-2494（学生代表：大滝）
E-Mail：info@takaguchi.arch.waseda.ac.jp

ワセダライブハウス facebook： <https://www.facebook.com/wasedalivehouse>

ワセダライブハウスの提案

LIVE with SOCIETY

LIVE with COMMUNITY

LIVE with FAMILY

林産地や素材生産の六次産業化

住まい手が材料や素材の由来を確認し、生産の場を直に確認できる産地と連携する。三重県熊野市の熊野材利用推進協議会とは、林産業の六次産業化で申請者らと連携しており、住まい手が林産地を訪ねるきっかけとして、工場見学や花の窟神社での大黒柱祭などのイベントを開始している。

主要内装部材の一般流通材化

内装仕上材を気候・風土や家族の構成に合わせて自らの手でカスタマイズする。将来的に内装仕上材は非熟練工でも施工することができるようユニット化し、ホームセンターなどで販売することで、住まい手に合った家づくりを容易にする。

アジアへ

アジア圏への展開を可能とすべく、主要構造部材の輸出を考慮し、輸送に適した規格で製造する。また、内装仕上材などは地場材を用いることで、地産地消を促す。



バックステージ

太陽熱 バイオマス 食料
雨水 電気 ガス

ライブステージ

ホワイエ

隣人

共有の場

ホワイエで共に食事をしたり、趣味に興じると言うようにアクティビティをコミュニティ内の家族が共有することで、コミュニティ内でのつながりが生まれる。

雨水の再利用

雨水を貯水し、菜園に水をやりたり、洗濯などに再利用することで、上水使用量を削減する。また、集中豪雨時には下水への負荷を軽減する。

地域バイオマスの活用

敷地内植栽、街路樹、公園等の剪定枝を木質チップ化し燃料として、バイオマスによるエネルギーの地産地消を推進する。

再生可能エネルギーによるピークカット

太陽光発電パネルや太陽熱温水器を利用することで、電力供給のピーク需要を緩和することができる。

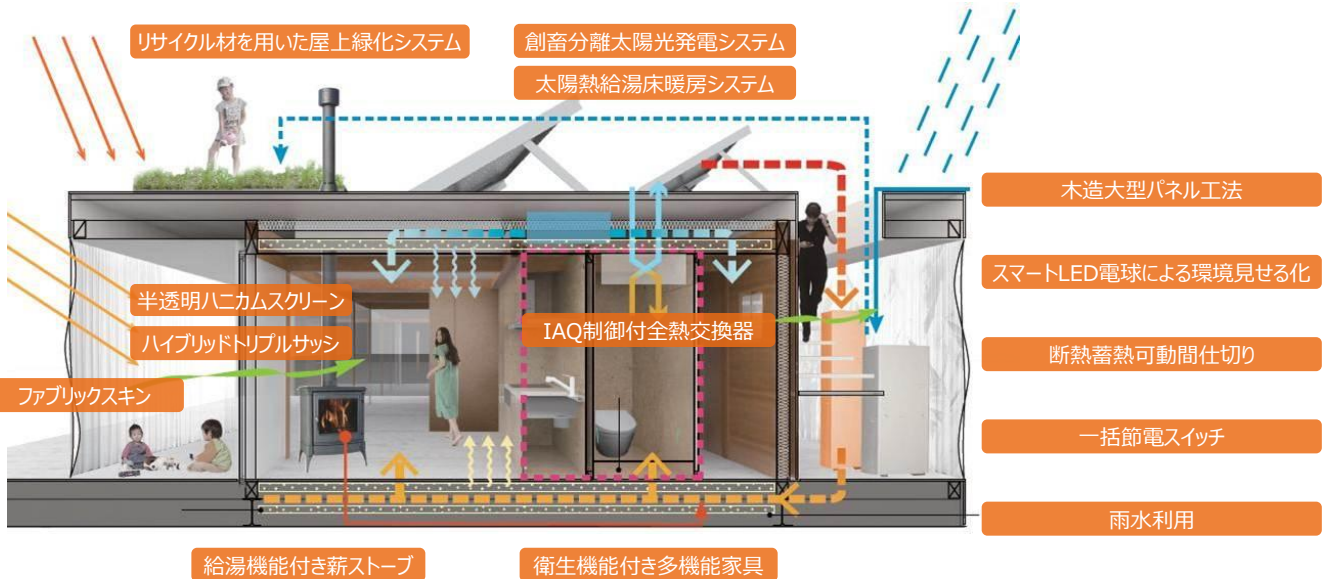
非常時への備え

日常的に蓄えられる雨水や菜園に育つ作物、電力グリッドから独立してエネルギーを得る発電機、温水器などの生産システムは、非常時にワセダライブハウスを支える。また、コミュニティ内での相互のサポートを促進する。

住まい手による施工

住まい手の住宅に対する姿勢の消極化を見直し、より能動的に住宅に働きかけることを促す。また、熟練工の減少といった問題を考慮し、素人でも施工可能な住宅を実現する。その足がかりとして今回は主要構造部材を学生が組み立て、将来的に一般居住者でも施工可能であることを示す。

採用した技術



産学連携

定期的に協力企業と学生でWGを開催。細かい部分の調整を行っております。



製造過程・使用実態調査

学生が実際に工場へ足を運び、採用した技術を見学し、製造過程から学んでおります。



ワセダライブハウスチーム

研究室間の垣根を越え、話し合いを進めたり、徹夜で模型作りなど、学生間の結束も強くなりました。